

第2回 BIMによる建築生産と施設運用の高度化に関するシンポジウム —デジタル・トランスフォーメーションによる異業種の融合—

建築プロジェクトの実施方法を大きく変える BIM が我が国においても本格的に導入されるようになってきている。この時に、発注者・設計者・施工者という異なる組織に所属する参加者が一体となって建築物のホール・ライフ・コストを最適化する建築物を実現していくような仕組みづくりが重要となる。本シンポジウムでは、発注者や設計者、施工者が BIM をどのように活用しているのかについて講演するとともに、他分野との共同作業を通じて、日本国内の建築ストックのデータベースとしての BIM データ構築に必要な考えについて整理を行うことを目的としている。

記

開催日：2021年7月2日(金) 13:30-17:00 (開場 12:45)

場所：西早稲田キャンパス 63号館 2階 大会議室 (定員 100名：資料代 2000円)

オンライン会場 (定員 300名：無料)

主催：早稲田大学理工学術院総合研究所

共催：早稲田大学建築学研究所

後援 (予定)：国土交通省, 日本建築学会, 日本建設業連合会, 日本建築積算協会
建築コスト管理システム研究所

題目：1. 主題解説：BIM と GIS の連動による建築生産の高度化について

早稲田大学創造理工学部建築学科 石田航星

2. 特別講演：国土交通省における BIM の取り組み (仮)

国土交通省不動産・建設経済局建設業課長 鎌原宜文

3. 講演：

施設群の維持管理における BIM の活用手法とその課題

日本郵政株式会社 不動産部門 施設部

施設保全グループ担当部長 土田真一郎

大規模不動産における BIM の活用について

東京オペラシティビル株式会社 大野晃敬

施工 BIM データと FM-BIM データの連携

清水建設株式会社 建築総本部 生産技術本部

BIM 推進部 部長 三戸景資

4. 質疑応答・ディスカッション

5. まとめ

早稲田大学理工学研究所 副所長 高口洋人

問い合わせ先：早稲田大学 石田研究室 ishidalab_BIM@list.waseda.jp



参加希望者はこの QR コードを読み取り、フォームに回答してください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdGKhfJfqlAxqQoNgfNsbFjqLSJMao7W5Uy4qtBAR3FI00uMA/viewform>

会場でのご参加は配布資料代として 2,000 円を徴収いたします。

オンライン参加の場合は無料です。なお発表資料の PDF 配布は行わない予定です。

また、すべてオンラインでの開催に変更になる可能性があります。

以上